

## 教育課程特例校 新規・変更・廃止申請に係る詳細

## 1 特別の教育課程を編成・実施する学校の管理機関

都道府県・指定都市名

長野県

管理機関名

※上段はふりがな

しもすわまちきょういくいいんかい

下諏訪町教育委員会

設置者の別

公立

## 2 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程を編成・実施する学校及び申請内容

別紙参照

## (2) 特別の教育課程の概要

・平成21年4月1日より、小学校第1年～6学年に新教科「英語科」を新設し、実施してきた。  
 ・令和2年度からは、小学校における新学習指導要領の全面実施に伴い、英語教育の制度化を踏まえ1、2学年のみ特例としての英語教育を実施し習熟を図る。

## (3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

下諏訪町は製造業従業者比率が県内他地域に比べ高く、産業のグローバル化の進展に伴い、中小企業においても海外との結びつきが強く英語教育を通じた異文化理解が不可欠である。  
 また、下諏訪町には観光地を擁し、町内を散策する外国人旅行者や、出張等で来町する諸外国の方々との交流において英語によるコミュニケーションが必要とされている。

## (4) 変更申請を含む場合、変更内容及び理由

新学習指導要領の全面実施に伴い、3・4年は教育課程内の「外国語活動」として、5・6学年は教育課程内の「英語科」を実施するため特例の廃止をする。1、2年生については従来通り生活の時間を20時間削減し「英語科」に充て、特例校として実施する。

## (5) 廃止申請を含む場合、廃止理由

--

(6) 新規・変更・廃止の適用日

令和2年4月1日
----------

3 指定の要件を満たしていることについて

(1) 教育基本法及び学校教育法に規定する教育の目標との関係

2に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、において確認済である。
--

(2) 児童又は生徒の教育上適切な配慮に関する基準

①学習指導要領に定める内容事項が特別の教育課程において適切に取り扱われていることについて

2に記載する特別の教育課程について、学習指導要領において全ての児童又は生徒に履修させる内容として定められている事項が、特別の教育課程において適切に取り扱われていることを、において確認済である。
--

②学習指導要領に定める内容事項を指導するための総授業時数が特別の教育課程において確保されていること

2に記載する特別の教育課程について、学習指導要領において全ての児童又は生徒に履修させる内容として定められている事項を指導するために必要となる標準的な総授業時数が確保されていることを、において確認済である。
--

③児童又は生徒の発達の段階並びに各教科等の内容の系統性及び体系性への配慮

2に記載する特別の教育課程について、児童又は生徒の発達の段階並びに各教科等の特性に応じた内容の系統性及び体系性に配慮がなされていることを、において確認済である。
--

④保護者の経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点からの適切な配慮

2に記載する特別の教育課程について、保護者の経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点からの適切な配慮がなされていることを、において確認済である。

⑤児童又は生徒の教育課程特例校への転出入に対する配慮等

2に記載する特別の教育課程について、①から④までに記載するものの他、児童又は生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていることを、において確認済である。